



ていたドイツ人)が開いたじゆくで西洋の医学を研究しました。江戸と長崎で勉強しているとき、シーボルトに直接学んだ高野長英(岩手県水沢市生まれ・医者)と友だちになりました。

やがて、長俊は村に帰り医院を開きました。長俊のおこなった種痘は、二本松市の医者だった小此木間雅おこのぎかんがとならんで、福島県でさいしよといわれています。

おそろしい病気を防ぐことができるので、棚倉や白河など遠くからもたくさんの子どもが、種痘を受けにきました。

また長俊は、そのころめずらしい電気治療ちりよう